

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		、児童デイサービス・アニマート桐生みどり				公表日	令和6年11月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	—	活動室は動く場所、休憩室は和室になっています。 安心、安全に過ごせるように身体を動かす場所と静かに過ごす場所を分けています。	目的に合わせて構造化になっていても、けがに繋がらないように、ヒヤリハットで周知していき大きなけがに繋がらないように継続していく必要があります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	適切です。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	—	・トイレの中に手すりを増やしました。 ・、必要とする児童の為にトイレの中に手すりを増やしました。 ・子ども達にもわかりやすいように視覚やその都度の声掛けを行っています。 ・室内・トイレバリアフリーになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	—	活動室・休憩室・クールダウンと場面に 応じた空間になっています。 ・必要以外の備品は毎日片づけや消毒を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	—	クールダウンの時や、宿題をやる、1人で 過ごしたい時に相談室で過ごせるよう になっています。 ・にぎやかな声が苦手な時にはイヤーマフを 使用してもらっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	—	毎日の昼礼または朝礼時に振り返りや どのように支援を行っていくか話し合い 決まりごとは申し送りノートに記載し 全職員がPDCAサイクルの体制を行って います。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	—	保護者の評価表や保護者会にて意見交換を し改善に繋がっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	—	ミーティング時や、定期的な個別面談や 随時の相談ができる体制を設けています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	—	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	—	オンラインや外部研修を積極的に行って います。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	—			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	—	ニーズを分析したうえで、スモールステップ で達成できるように作成をしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	—	日々の振り返りやカンファレンス、個別 支援会議にて話し合いをしています。子ども 達の 気持ちを優先できるように職員で統一を 図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	—	・カンファレンスから個別支援会議までの 書類の確認や日々のミーティング時に共有 を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	—	児童発達支援管理責任者のもと使用して います。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	—	具体的な支援内容を取り入れて統一を図っています。個別支援計画作成時には、保護者様にもどのような経緯で取り入れているかご説明をしています。	・保護者様に説明をしているが忘れてしまう場合もありどのように周知をしていくか課題であります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	—	・週ごとに担当を決め、最終確認は全体で行っている。 同じものを取り入れていくときに評価をしていき、次のステップに生かせるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	—	・固定化しないように意見を出し合っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	—	個別は1回/月にて会議をし経過や次のステップに繋がるように行っています。集団活動では、児童の状況に応じて参加できるように統一を図っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	—	昼礼にてその日行われる支援を全体周知や役割分担を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	—	・毎日の振り返りにて改善点を話し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	—	帰りの送迎が終わった後に記録をとっています。 ミーティング時に支援の検証・改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	—	定期的なモニタリングや日々の様子で判断をしていき見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	—	子どもの発達に合わせて意欲的に楽しく活動ができるように集団活動（室内・外）を行っています。 ・強みを大事にしています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	—	色々な場面にて自己選択ができるように支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	—	・児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	—		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	—	・下校時間は週事に保護者や学校に確認。 報連相も事業所で統一を図っています。 マニュアルも作成することで周知できています。	・下校時間より大幅に時間が遅れる時がある。 学校と連携が必要である。 児童の能力により、引き渡しがいい場合もあるので保護者、学校の報連相が必要であると思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	・利用開始前に必要時に情報共有を行っています。	就学前の様子を画面で統一が図れるといいのでは。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	—	卒業前の担当者会議にて、これまでの支援内容の情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2	必要に応じて連携を図っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	放課後児童クラブとの交流はないが地域の活用の中で関われる機会を設けています。	・大勢で活動をすることが苦手な児童が多く交流までが難しい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	—	月一回の子ども部会の参加と研修等があれば職員も同席をしています。		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	—	・日ごろから、子ども達の状況を連絡帳や帰りの送迎時にお伝えしています。		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	—	・随時の相談の助言・提案や家族が参加できるものがあればチラシの配布を行っています。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	—	・契約時に伝えています。		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	—	・必要時とモニタリング時に保護者と児童の意思を確認し、個別支援計画書の反映や支援の変更を行っています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	—	個別支援計画書の基づき支援で行う事をの説明をさせて頂き同意を得ています。		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	—	児童発達支援管理責任者が行っています。	関係機関からも情報収集をしていき必要に応じて助言や支援に繋げています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	—	1回/年で保護者会にてきょうだい含め交流する機会を設けています。	利用して下さっている保護者様全員に来ていただき交流を図って頂きたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	—	契約時に相談/苦情担当者の周知、管理者兼児童発達支援管理責任者が確認・対応を行っています。		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	—	・2か月に一回のアニマート新聞、イベント等を新聞、ホームページにて活動の様子を発信しています。日々の様子は、リトムや帰りの送迎時にお伝えしています。		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	—			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	—			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・地域住民を招待する大きな行事ができていないです。	
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	—	・各マニュアルの周知は行っています。避難訓練（火事・地震・水害・不審者対応等）子ども達と一緒にしています。 ・自然災害等は時期に合わせて保護者に周知しています。	・より事業所に合わせた訓練を考えていきたいと思います。
		47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	—		
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	—	持病等の服薬の確認。服薬の変更があれば随時確認をお行っています。		
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	—	食物アレルギーに関しては、提示し職員が周知できるようになっております。	薬の副作用によっては、禁止のジュース等があるが保護者が認識できていない場合もあるので、家族の働きかけや事業所の把握が必要になってくる。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	—	事業所の安全計画のマニュアルは職員に周知。必要な研修や避難訓練。災害時の避難する場所や引き渡し時等は保護者に書面にて周知を行っています。		
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	—	時期に合わせて取り組み内容を周知しています。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	—	共有し、再発防止について検討しています。		

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	—	1回/月のが虐待委員会の開催、職員に周知。適宜外部の研修に参加をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	—	やむを得ず行う身体拘束については全職員の話し合いを行い決定。個別支援計画書に記載し保護者様に説明をして了解を得ています。	